

ブレイゾン・セラピューティクスが、 Hello Tomorrow Challenge2022グローバルサミットに進出！



Hello Tomorrow Asia Pacific 2022 登壇者のみなさんと / Hello Tomorrow Japan

2022年10月5日、シンガポールにおいてHello Tomorrow APAC SUMMIT2022が開催され、キングスカイフロントに所在する株式会社ブレイゾン・セラピューティクスが出場しました。同社からは代表取締役社長 兼 CEO Philip Davy氏が登壇、ファイナリスト15名が発表を行う中、1位に見事入賞を果たし、2023年3月にパリにおいて開催されるGlobal Summit in Parisへの出場を決めました。

同社は、東京大学大学院工学系/医学系研究科・片岡一則教授(当時)(現 東京大学名誉教授)および東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・横田隆徳教授の共同研究成果である「脳内への薬剤デリバリーに関する画期的な技術」を、医療・ライフサイエンス領域において、応用・実用化することを目的として設立されたスタートアップです。脳疾患を治療するためには薬剤を脳に届ける必要がありますが、脳には生体バリアがあるため薬剤を的確に送達することは極めて困難です。同社は、トランスフェリンレセプターリガンド修飾ミセルを用いることでこの課題の解決を図っています。また同社の技術は、様々な様態の薬剤(低分子化合物、核酸医薬品など)に適応する高い汎用性と投与量と比較して高い送達効率を示すといった他にない特徴を備えており、実用化に向けての期待が高まっています。

Hello Tomorrowはパリを拠点としたNPO法人で、ディープテックにおいて世界に幅広いネットワークを有し、研究開発や起業家に対する支援を通じて現代社会向けのソリューションや革新的な技術の社会実装を促進しています。Hello Tomorrow Challengeは同法人が主催する世界最大級のディープテック分野のビジネスコンテストであり、ブレイゾン社は9月13日に開催された日本大会であるJapan Challenge2022において上位2社に入り、アジア大会のHello Tomorrow APAC SUMMIT2022に出場しました。

世界大会にあたるGlobal Summit in Parisは、2023年3月9日～10日に開催される予定で、Global Challengeの優勝チームが決まります。最先端技術を開発している約1000のスタートアップや、300を超えるディープテクノロジー投資家などDeep Techに関わるプレイヤーが一同に会する中で、同社の技術に注目が集まることでしょう。皆様、応援をよろしくお願いいたします。



Braizon Therapeutics Co /
Hello Tomorrow Japan

[Hello Tomorrow Global Summit の
Webサイトはこちら](#)

スペイン大使館経済商務部、スペイン企業が来訪

10月11日、スペイン大使館経済商務部とスペイン企業の皆様がキングスカイフロントに来訪されました。今回の来訪の目的は、日本におけるライフサイエンス・エコシステムに関する現状の視察と、立地機関との交流を通じ日本とのビジネス交流のヒントを得るためのものです。

はじめに訪れたナノ医療イノベーションセンターでは、永井副センター長から疾患を予防・治療するナノマシンや、精度が高く身体負担が少ない診断デバイス等の開発による体内病院®構築の取組みについて説明を受けた後、オープンイノベーション創出のため整備された特徴的な施設を見学されました。

また、国立医薬品食品衛生研究所では、本間副所長から日本で最も古い国立試験研究機関としての歩み、医薬品、食品、生活環境などにおけるレギュラトリーサイエンスの取組みについて説明を受けました。医療機器部(山本部長)、再生・細胞医療製品部(佐藤部長)、生化学部(近藤部長)、薬理部(諫田部長)からは具体的な研究活動の紹介を受け、興味深く聞かれていました。



遺伝子治療研究所の開発製品 国内初の治験始まる

株式会社遺伝子治療研究所は2022年10月17日、自治医科大学附属病院において、同社開発品であるパーキンソン病を対象としたGT0002Xの投与が行われたことを発表しました。

この治験は、長期にわたる症状の改善を目指し、人体に無害なウイルスを使って遺伝子を脳内の狙った場所に送り込みドーパミンの放出を促すものです。今後、月に1人程度のペースで患者12人に投与し、経過を観察して安全性と有効性を調べ、新たな治療法としての承認を目指すとしています。

[株式会社遺伝子治療研究所のニュースリリースはこちら](#)

【12/9締切】モノづくり企業のための細胞培養研修

ライフサイエンスの分野では、技術の発展や研究開発の多様化に伴い、新たな培養機材や機器等の開発、異分野技術の活用が求められています。

そこで、ライフサイエンス分野にご関心を持つモノづくり企業の皆様が対象に、細胞培養の開発ニーズに自社技術をどう活かせるかを検討される機会として、細胞培養研修を開催いたします。

同研修には、キングスカイフロントにおいて再生・細胞医療の産業化拠点であるライフイノベーションセンターを整備した神奈川県をはじめ、同施設内でオープンラボを運営するバイオテック・ラボ、同施設で研究開発を行っている大阪サニタリー、そして弊事業部も登壇予定です。奮ってご参加ください。

[研修の詳細についてのWebサイトはこちら](#)

「シェアラボ Pitch! @CIC x KING SKYFRONT」を開催

弊事業部は9月21日、スタートアップ向けラボ施設の運営者及びラボに入居するライフサイエンス系スタートアップによるピッチイベントを開催しました。キングスカイフロントから「iCONM in collaboration with BioLabs」と株式会社ブレイズン・セラピューティクスが参加し、シェアラボの仕組みやナノ医療イノベーションセンターの利点について話しました。

日本におけるイノベーション・エコシステムの構築のため、ライフサイエンス分野の実験用ラボ施設が注目されています。

特に「シェアラボ」は、ラボのスペースや設備を共有することで、スタートアップ企業が最小限の投資でその日のうちに実験を開始できるため、非常に魅力的な存在となっています。しかし、日本ではまだまだシェアラボの充実が求められています。イベントの最後のセッションでは、スタートアップ企業やラボ経営者のパネリストが「地方でシェアラボからイノベーション・エコシステムを作るにはどうしたらいいか」について議論し、聴衆を巻き込んで大いに盛り上がりしました。



シェアオフィス「殿町コネクト」利用者募集

Research Gate Building II内に所在するキングスカイフロントシェアオフィス「殿町コネクト」の利用者を募集しています。

キングスカイフロントに活動の拠点をお持ちになりたい方は是非、ご検討ください。11月からは開室時間を延長し、平日は午後10時まで、土曜日は午後6時までご利用いただけます。(日・祝は閉室)



購読のご案内

キングスカイフロントの最新情報をお届けするi-Newsletterを購読ご希望の方は、こちらよりお申し込みください。年4回の発行で、購読は無料です。
<https://ws.formzu.net/fgen/S11051741/>

発行日：2022年11月

発行元：公益財団法人川崎市産業振興財団

殿町キングスカイフロントクラスター事業部

Mail：info-ksfcl@kawasaki-net.ne.jp

